

役員会（令和8年度第4回）議事要旨

1. 日 時 令和8年7月21日（火） 15:22～15:51
2. 場 所 オンライン会議
3. 出席者（参集） 塩崎議長（学長）
 (Webex) 加藤、太田、小谷、西村、ベントンの各委員（理事）

出席監事（Webex） 春本、柴田の両監事

陪席者（参集） 蜂谷、東、有賀の各課長
 (Webex) 元平、井上の両部長
 守山、山田、山本、伊賀、多田の各課長

（配付資料一覧）

- | | |
|-----|---|
| 資料1 | 役員会（令和8年度第3回）議事要旨（案） |
| 資料2 | 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学安全保障輸出管理規程等の一部改正について |
| 資料3 | 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学リサーチ・アドミニストレーターの選考等に関する規程の一部改正について |
| 資料4 | 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員兼業規程等の一部改正について |
| 資料5 | 海外機関との学術交流協定の締結等について |
| 資料6 | インドネシア共和国 インドネシア大学（UNIVERSITAS INDONESIA）と日本 奈良先端科学技術大学院大学（NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY）との間における博士課程におけるダブルディグリーに関する協定 |
| 資料7 | 奈良国立博物館との包括連携研究等の推進に関する協定書の締結について |
| 資料8 | クロス・アポイントメント協定の締結について |
| 資料9 | 奈良先端科学技術大学院大学電子ラボノートコンソーシアム実施要領 |

4. 議 事

（前回議事要旨の確認）

資料1に基づき、役員会（令和8年度第3回）議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

（審議事項）

- （1）国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学安全保障輸出管理規程等の一部改正について
太田理事から、資料2に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学安全保障輸出管理規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- （2）国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学リサーチ・アドミニストレーターの選考等に関する規程の一部改正について
東人事課長から、資料3に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学リサーチ・アドミニストレーターの選考等に関する規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- （3）国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員兼業規程等の一部改正について
東人事課長から、資料4に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員兼業規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- （4）海外機関との学術交流協定の更新について
太田理事から、資料5に基づき、海外機関との学術交流協定の更新について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- （5）ダブルディグリープログラム協定の締結について

太田理事から、資料6に基づき、ダブルディグリープログラム協定の締結について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(6) 奈良国立博物館との包括連携研究等の推進に関する協定書の締結について

太田理事から、資料7に基づき、奈良国立博物館との包括連携研究等の推進に関する協定書の締結について説明があり、審議の結果、軽微な修正については学長に一任することとした上で、原案のとおり承認した。

(7) クロス・アポイントメント協定の締結について

議長から、資料8に基づき、クロス・アポイントメント協定の締結について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(8) 電子ラボノートコンソーシアムの設置について

太田理事から、資料9に基づき、電子ラボノートコンソーシアムの設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(主な意見は、次のとおり)

- ・電子ラボノートコンソーシアムの会員数は、どれくらいの規模を想定しているのか。
→現行の運営体制で対応可能な規模として、個人・法人合わせて50以下の規模を想定している。それを超える場合には、人員体制の補強等を検討する必要がある。
- ・学外の研究者・大学機関は電子ラボノートにどれくらいの興味を示しているのか。
→DSCが中心となって開催してきたワークショップやシンポジウムには、様々な機関や企業が興味を持って参加している。また、J-PEAKS参画機関を中心に、複数の大学からコンソーシアムへの参加を検討しているという意向が示されており、当初は10以下の規模で開始することを想定している。

以 上